

政務活動報告書

活動事項	住宅リフォーム助成制度と性教育に関する調査
活動年月日	平成29年5月23日
場所	秋田県庁
活動の相手方	秋田県建設部建築住宅課 主幹 加賀谷王仁 " 調整・住宅政策班副主幹 経徳康之 教育庁保健体育課 健康教育・食育班 指導主事 吉尾美奈子 " " 副主幹 星野和貴
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、全国の自治体で実施している住宅リフォーム制度の先駆けとなっている秋田県を調査し、鳥取県での可能性をつかむため。 2、10代の人工妊娠中絶の比率が高かった秋田県が、全国平均を下回った経験や意識、事業などをつかみ、全国比率より高位で推移している鳥取県の人工妊娠中絶率を引き下げするため、性教育の先進地として学び、提言したい。 <p>【内容】</p> <p>1、 建築住宅課＝住宅リフォーム助成制度について聞き取り調査 全国の地方自治体が実施している「住宅リフォーム助成制度」は現在600を超えてるが、その先駆けとなったのは秋田県（平成22年より）です。住環境の改善整備で住民に喜ばれるとともに、波及効果の大きさを地域経済対策としても地域経済の活性化に役立っています。実施に至ったのは知事の選挙公約でもあったようです。</p> <p>全国でも県が実施している例は少ないが、全国の市町村の住宅リフォーム助成に大きく影響を与えている。県内市町村のリフォーム補助と併用できる。特徴として、秋田杉の活用を促進しつつも、鳥取県のように県産材の活用に限定せず、屋根の吹き替え、塗装、畳、ふすま、風呂など対象を広げ多くの地元業者、企業がリフォーム制度の恩恵を得ることができ、制度を紹介して自ら仕事興しをしている事業者もいる。</p> <p>○秋田県の助成制度の概要</p> <p>持ち家の耐震化、長寿命化、省エネ化、バリアフリー化、克雪化リフォーム工事に対して補助対象工事費の10% 最大12万円 子育て世帯のリフォーム工事に対して 持ち家の場合 補助対象工事費の20% 最大40万円</p>

空き家購入の場合 補助対象工事費の 30% 最大60万円

2、 保健体育課＝性教育について聞きとり調査

鳥取県の10代の人工妊娠中絶率は全国上位で、平成14年度から17年度までは連続全国ワースト1、直近でも12位、8位と高水準です。秋田県も10代の人工妊娠中絶率が上位で推移していたが、「性教育講座」の取り組み、実践により平成19年度から全国平均を下回り維持している。鳥取県でも性教育、心や性の健康問題対策事業は実施されているがどこに違いがあるのか、担当者に聞いてみました。

- ・鳥取県との違いは、高校生の「性教育講座」を中学生にも広げていること。

- ・秋田県医師会が2003年性教育プロジェクト委員会を立ち上げ、性教育派遣口座への医師派遣窓口になっている。

- ・日本産婦人科学会秋田地方会と日本産婦人科医秋田支部が「性教育指導マニュアル」を発刊。

- ・単発的な講座にならないよう、講師は講演前に生徒に事前アンケートを実施して、事前・事後の指導時間を明確に位置付けている。これを大事にしている。

※鳥取県では事後のアンケートはあるが、事前アンケートはほとんどしていない。

- ・各校におけるステップアップ「性に関する指導」の3か年計画をたてる。

このような取り組みで、秋田県では10代の人工妊娠中絶が減少してきた。鳥取県も参考にすべきである。

【結果（成果）等】

9月定例会で質問に生かした。

関連領収書番号

4の4, 9, 10 5の4, 5